

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 11 / 2017 # 53

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『国際コンクール』

[2] Pepeのひとりごと

『必要だと思うこと』

[3] おすすめ動画

『Cook - Granados/Diószegei: Bolivar meets Marcello - Szeged Trombone Ensemble by György Gyivicsan』

『Glenn Van Looy - Fantaisie sur 'L'âme en Peine』

[4] 演奏のヒント！

『マウスピース選び』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『国際コンクール』

今、韓国の済州島では国際コンクールが行われているようです。僕はこのコンクールにも何回もお世話になりましたが、これまでにいろいろな国での国際コンクールに参加してきました。

そういうレベルの高いコンクールに参加（挑戦）することのいいところは、いろいろな国の頑張っている人たちとの出会いや

交流ですね。

僕の今の世界中に広がっているネットワークは、こういう国際コンクールやオーディションからできたものがほとんどです。これは何物にも代えがたい宝物ですね。

そして、もちろんいろいろな人の演奏が聴けること。オーディションでは他の人の演奏は聴けませんが、コンクールでは、僕はできる限り他の人の演奏も聴くようにしていました。
(オーディションでも、控室での練習やウォームアップを聴くことでいろいろと吸収することはたくさんありましたよ)

いいことのもう一つは、レパートリーが増えること。国際コンクールの中には、ラウンドによって現代曲が課題になることが多いです。

自分ではなかなか選ぶことができなかつたり、知らない曲などは、こういうコンクールなどで課題になることによって購入して練習を始めたりします。それで僕もいろいろなレパートリーが増えました。

若い人たちには、ぜひいろいろなことにチャレンジしていてもらいたいと強く思います！ :)
レベルの高いところに身を置くということは、自分のレベル・アップにかなり有効になると僕は思っています。

[2] Pepeのひとりごと

『必要だと思うこと』

僕は普段オーケストラで演奏していますが、いろいろな曲を演奏する機会があります。

今年になってゲーム音楽を演奏する機会（慣れていないジャンルの曲を演奏する機会）が増えてきて改めて感じていることなのですが、初見があまり強くなかつたり（僕もそれほど得意ではありませんが。笑）、音価の扱い方が雑だつたりする状況を目にすることが多いんです・・・。

こういう状況を目の当たりにして改めて思ったのは、「現代曲をやる経験があるのとないのとでは、ずいぶん違うのかなあ」ということです。

何が違うのかというと、

「いつでもどのようにでも変化をつけられるかどうか」
ということです（シンプルに言うと）。

言い方を変えると、

「いつでもどこからでも、大きくも小さくも演奏できる」ということ
ですかねえ。

強弱だけじゃなく、アクセントやスタッカートなどのニュアンスも
含めてです。

そういうテクニックを要求されるのが現代曲には多いと思います。
まだまだ多くの人にとっては現代曲というのはとっつきにくいものかも
しれませんが、いろいろな現代曲を勉強して演奏していくことは、
将来いろいろなジャンルの曲を演奏する上で、思っていた以上に役に
立っています！ :D

今、専門的に音楽の勉強をしている人は、ぜひ現代曲にも積極的に
取り組んでみてくださいね。

[3] おすすめ動画

『Cook - Granados/Diószegei: Bolivar meets Marcello - Szeged Trombone Ensemble
by György Gyivicsan』

[https://www.youtube.com/watch?
v=eXRNpqRTeMo&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=1](https://www.youtube.com/watch?v=eXRNpqRTeMo&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=1)

今月1つ目の動画は、Trombone4重奏の動画です。
ハンガリーのトロンボニスト、György (Gyvicsan氏。今や
スローカー・クワルテットのメンバーという紹介がわかりやすいですね)
率いるSzeged Trombone Ensembleの演奏です。

これを聴くだけでも、ハンガリーのTromboneのレベルの高さが簡単に
伺えますね（笑）。

『Glenn Van Looy - Fantaisie sur 'L'âme en Peine』

[https://www.youtube.com/watch?
v=uGx_MByjnWI&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3](https://www.youtube.com/watch?v=uGx_MByjnWI&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=3)

2つ目の動画は、Euphoniumの動画を。
久しぶり（なのかな？）に登場、ベルギーのヴィルトゥオーゾ、
Glenn (van Looy氏) の演奏です。

相変わらずの、安定したテクニックにしっかり支えられた音楽です。
ユーフォニアムは高いテクニックを持っているのにそれを見せるだけの
演奏になってしまっている残念な奏者が未だにいますが（涙）、

このGlennやイギリスのDavid Childs氏は、ものすごいテクニックにしっかりと音楽もあり、僕は大好きです。 :)

[4] 演奏のヒント！

『マウスピース選び』

マウスピース選びは、楽器選びと同じくらい大切なことです。経験のある人には（プロアマ問わず）わかると思いますが、マウスピースと一言で言っても、本当にいろいろとあり、またそれぞれがずいぶん違うんですね。

今日はそのマウスピースを選ぶ際のポイントを少し書こうと思います。

みなさん、マウスピースを試奏する際には、まず「吹きやすさ」ということを気にすると思います。この「吹きやすさ」というのも個人差があるものだとは思いますが（笑）、まず単純に、音が出しやすいかどうか。

そのあと、多くの人が気にするポイントとして高い音（低い音）が出しやすいかどうか。その次に来るのは、大きな音が出せるか、小さな音が出せるか、ではないでしょうか？

そこで、その時に自分の課題（壁？）になっている高い音（や低い音、または大きな音や小さな音）がクリアできる（できそうな）マウスピースが見つかったら、「これだ！！」と思って決めると思います。

もちろん、それで本当にいいものと出会うこともあると思います。

ここでは、「本当に（自分にとって）いいものと出会う」確率を上げるためにもう一つポイントを。僕は、マウスピースを選ぶ際にいつもこのポイントも気にしています。

そのポイントとは、「音量の強弱の変化の付けやすさ、アタック（発音）の吹きわけのしやすさ」です。

クレッシェンドやディミニユエンド、鋭いものや柔らかいアタックなどなど、いろいろなものをやってみてください。

マウスピースによっては、それらがうまくできないものもあると思います。うまくできないマウスピースは、そのマウスピースがいいか悪いかではなく、（現時点での）自分にとってサイズなどが合っていないと思われるので、

ぜひ他のサイズやマウスピースを試してみてくださいね。

吹きやすさがあり、音量やアタックの変化がつけやすいものがあれば、それは「いい出会い」だと思います。

今後のマウスピース選びの参考にしてみてくださいね！ :)

編集後記

毎日暑い日が続いていますが、みなさん元気に過ごしていますか？
僕は、なんとか毎日をしのいでいます。 ;)

8月に入ってオーケストラの殺人的なスケジュールは無事終了し、
比較的ゆっくり過ごす時間を持つこともできました。

今日のコンサートを終わると、家族で松山（僕と妻の出身地です）に
数日行きます。

僕は吹奏楽のコンサートに出演するので明日リハーサル、明後日
コンサートとバタバタはするのですが、いろいろと食べたいものも
あるので、今から楽しみです！！ ;)

コンサートも、会いたい人たちとの楽しいコンサートなので、
すっごく楽しみです！ :D

・・・しかし、お盆時期の長距離移動。
工夫をしてなるべく渋滞を避けて移動しようと思っています。

みなさんも、よい夏休みをお過ごしください！

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>